

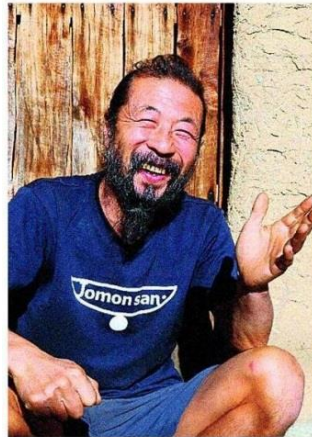
年 組 名前:

問1

甲州市の雨宮さんは、
何を使って、丸木舟を
造っていますか。

全国丸木舟造り 後半へ

甲州・雨宮さん 前半、親子400人参加



ツアー後半へ意気込みを語る雨宮国広さん
—甲州市塩山三日市場

石おのを使った丸木舟造りなどの活動を続ける甲州市塩山三日市場の木工・雨宮国広さん(53)が、全国の子どもたちと丸木舟を造るツアーの前半を終え、山梨に帰ってきた。約半年間で25都道府県を巡り、延べ約400人の親子と交流。ツアーは来年2月から後半に入る計画で、現在、運送費などの資金を募っている。(松本飛勇馬)

ツアー名は「Jomon-san」海道から南下し、12月17、18日、西日の京都府まで25都道府県を巡り、延べ約400人の親子が参加した。事前の予約がなかった体験会もあるが、雨宮さんは「飛び入りで参加してくれたら、知り合いに参加を呼びかけてくれたりした。支えてもらいながら何とか前半をやり切れた」と振り返る。後半は、来年2月4、5両日の三重県からスタートし、

問2

丸木舟を造るツアーの
前半は、2022年6月に
山梨を出発し、どこから
どこまで、いくつの

都道府県を巡りましたか。

また、後半に付いても教えてください。

・前半: から
..... 都道府県

・後半: から 府県

7月15、16両日の沖繩県まで、22府県を巡る予定。丸木舟は沖繩県で完成させ、7月下旬から10月にかけて各地で試乗会の開催を予定している。現在、ツアー後半に必要な資金900万円を募っている。クレジットカードか銀行振り込みで、一口3千〜30万円を受け付けている。集まった資金は体験会の材料費や運送費などに充てる。プロジェクトのホームページで周知している。

雨宮さんは「たくさんの方の支援のおかげでできているプロジェクト。これからの体験会でも子どもたちに命や道具に感謝する心を伝えていきたい」と話した。

(2022年12月31日付 山梨日日新聞14面)

問3 現在、ツアー後半に向けて資金を募っています。その資金の使い道を教えてください。

問4 雨宮さんは、このツアーをすることの目的を、どのように話していますか。